

異常高温緊急情報 第4号（高飽差）

令和8年9月24日
新潟県農林水産部

9月18, 19, 22日に高温と著しい乾燥が発生
胴割粒発生危険性大
収穫期を迎えた「新之助」は、
速やかに収穫しましょう！

対応が必要な水稻

品種	新之助

気象状況

- 9月18, 19, 22日に著しい乾燥が発生し、日平均飽差^注が、新之助の胴割粒発生危険水準を超えました。

注）飽差は空気の乾燥程度を示す指標。数字が大きいほど乾燥程度が大きい。

当面の管理対策

- 新之助は、出穂後積算気温が900℃以上の場合、ほ場で籾を確認し、籾黄化率80～85%をめやすに、水分計がある場合は、籾水分を測定し、22%未満の場合はできる限り速やかに収穫してください。
- 収穫時の籾水分が低い場合は、日中は常温で通風乾燥を行い、点火は夜間等で気温が下がってから、送風温度を低めに設定（毎時乾燥速度が0.5%以下）し乾燥しましょう。
- 乾燥機に2段乾燥機能や休止乾燥機能があれば利用し、丁寧に乾燥してください。

収穫作業の疲れが出やすい時期です。

熱中症と農作業事故に十分注意しましょう。

参考資料

県内アメダス観測地点（12 地点）における日平均飽差

アメダス地点	日・判定	村上	中条	新津	巻	三条	長岡
日平均飽差 (g/m^3)	9/18	7.0	8.1	7.3	5.4	7.4	4.6
	判定※	○	○	○		○	
	9/19	5.0	6.5	5.9	4.2	6.0	4.2
	判定※		○			○	
	9/22	3.5	4.6	5.4	4.0	4.8	4.0
	判定※						

アメダス地点	日・判定	柏崎	小出	十日町	高田	糸魚川	相川
日平均飽差 (g/m^3)	9/18	4.1	5.3	4.6	6.2	6.7	8.9
	判定※				○	○	○
	9/19	3.6	5.3	5.2	6.4	6.2	5.8
	判定※				○	○	
	9/22	4.2	4.7	3.5	4.5	6.0	5.8
	判定※					○	

※ 判定基準 ● : 9.0 以上 こしいぶき、コシヒカリ、新之助で胴割粒発生の危険大

○ : 6.0 以上 9.0 未満 新之助で胴割粒発生の危険大

なし : 6.0 未満 胴割粒発生の危険小

日平均飽差は、日平均気温・日平均湿度から計算した値です。

過去のデータについては、下記ホームページに掲載しています。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/nouen/r8inasaku.html>

飽差 (g/m^3) とは

1 立方メートルの空気中に、あと何グラムの水蒸気を含むことができるかを示す値のことで、空気の乾燥程度を表しています。この数値が大きいほど、空気中により多くの水分を含むことができ、湿りやすい状態であることを示します。

飽差と胴割粒の関係

胴割粒は、出穂後の高温や収穫期頃の乾燥、刈遅れ等で発生します。収穫期近くの籾水分が 22 % 未満に低下した時期に、飽差が高くなると胴割粒が急増することが分かっており、特に新之助で多発しやすいです。この時の飽差のめやすは、「こしいぶき」、「コシヒカリ」では $9 \text{ g}/\text{m}^3$ 以上、「新之助」では $6 \text{ g}/\text{m}^3$ 以上です。胴割粒の発生を抑えるため、出穂後積算気温 800 $^{\circ}\text{C}$ から飽差を確認し、籾水分が 22 % 未満に低下した以降に飽差が高くなった場合は速やかに収穫しましょう。

詳細は農業総合研究所研究成果「フェーン現象や乾燥による胴割粒の多発を抑制する早期収穫判断のめやす」を参考にしてください。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/336549.pdf>